

# 平成27年9月関東・東北豪雨における 河川防災ステーションの活用事例

(参考②)

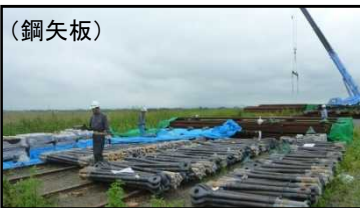
## 鬼怒川(茨城県)

鬼怒川の堤防決壊箇所の応急復旧では、3箇所の河川防災ステーションに備蓄していた根固めブロックや鋼矢板などの資材を使うことにより、早期に工事を完了させました。

①真岡河川防災ステーション  
(根固めブロック、割り栗石)



②大利根河川防災ステーション  
(鋼矢板)



③上新郷河川防災ステーション  
(鋼矢板)



茨城県

堤防決壊平成27年9月10日



復旧完成平成27年9月24日

## 江合川(宮城県)

江合川では川の水位が上昇し、堤防を越えそうになったことから、涌谷河川防災ステーションの備蓄土砂で土のうを製作し、堤防上に積むことにより、越水を防ぎました。

■江合川の越水を防ぐための  
土のう積み実施状況



■涌谷河川防災ステーションでの  
土のう製作状況



撮影日時:平成27年9月11日